

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 587

事務事業名	公共下水道雨水施設維持管理事業
-------	-----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	上下水道局		
課名	下水道施設課		
課長名	丸田 和博	内線	54-3110
担当者名	寺田 克巳	内線	54-3110

基本目標	050304	機能的で環境と調和したまち
政策		快適で暮らしやすい都市環境の整備
施策		上下水道の整備
関連施策		

会計		下水道事業会計
款	2	下水道事業費用
項	1	営業費用
目	2	ポンプ場
事業コード		

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画	大村市公共下水道事業計画	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	公共下水道処理区域内の雨水排水施設、排水区域の住民		
意図 対象をどのような状態にしたいか	排水施設を適切に維持管理し、大雨による浸水被害をなくす。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	(事業概要) 大村ポンプ場排水区域・・・面積6.3ha、戸数180戸 杭出津ポンプ場排水区域・・・面積7.4ha、戸数250戸 (手段) 大村ポンプ場と杭出津ポンプ場に設置したポンプで排水区域内の雨水を大村湾及び大上戸川に排水する。		
事業期間	昭和 56 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営、委託
根拠法令、要綱等	下水道法第3条		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① ポンプ運転試験回数	計画値	12	12	12	12	
		実績値	12	12	12		
	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
	②	計画値					
		実績値					
	達成度	%					
成果指標	① 対象区域内の浸水被害戸数	計画値	0	0	0	0	
		実績値	0	0	0		
	達成度	%					
	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	5,648	5,866	6,216	6,982	5,971	0	0	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	5,648	5,866	6,216	6,982	5,971			
一般財源								
② 人件費(千円)	715	1,663	1,904	1,963	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.09	0.22	0.27	0.27	雨水ポンプ場 2箇所	雨水ポンプ場 2箇所	雨水ポンプ場 2箇所	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	6,363	7,529	8,120	8,945				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	設備の適切な保守点検及び修繕を行い、施設の機能を維持することができた。
事業が抱える問題・課題等	年々、施設の老朽が進むにつれて故障箇所・故障回数が増え、修繕にかかわる事業量及び事業費も多くなっている。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	平成20年度から包括的民間委託を実施し、管理費のコスト削減効果が上がっている。本年度も引き続き、委託費、修繕費の削減を図る。						
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
維持管理費は、下水道法の規定により補助対象外になっており、見直しの余地はない。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

<input checked="" type="checkbox"/> 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	
--	-------------------------------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	平成20年度から運転管理業務や保守管理業務の殆どについて、包括的民間委託を導入しコスト削減ができていますので、当年度もこのまま事業を継続したい。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	継続的、計画的に保守点検や修繕を実施することで、雨水ポンプ場の排水能力を確保し、地域の浸水を防止することができる。

1次評価	今後の方向性		2次評価	対象外	今後の方向性	
	終期設定			終期設定		
	意見等			内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。